

2018年（平成30年）度 地域基礎科目の履修について

地域基礎科目は、必修単位数が6単位であり、3コマの履修が必要であることは全員共通ですが、所属する「地域」と専攻する地域言語Aにより、履修方法が異なります。下記14の「地域」の中から該当する「地域」の説明文を読み、地域基礎科目を履修登録してください。なお、履修指導文にある指定授業のうち、時間割によっては2018年（平成30年）度に履修登録できない場合もあります。その場合は、2019年（平成31年）年度に履修するようにしてください。

1. 北西ヨーロッパ

「北西ヨーロッパ」専攻の学生は、「北西ヨーロッパ」で開講される3コマ・6単位のうち、2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、「オセアニア」の授業の中から選択して履修する。

2. 中央ヨーロッパ

・地域言語A（ドイツ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員が担当する5コマ・10単位のうち、2コマ・4単位を選択履修する。残りの1コマ・2単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目から選択履修する。なお、秋学期開講の地域基礎科目のうち、履修コード160015、160016は、2年生のみ履修可能なゼミ形式の授業である（人数制限あり）。

・地域言語A（ポーランド語）の学生はまず、「中央ヨーロッパ」で開講され、ポーランド語教員が担当する地域基礎科目（1コマ・2単位）を履修する。残りの2コマ・4単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で開講される「地域基礎1A（ロシア・中央アジア）」（受講指定PIの付されたもの）から選択履修する。

・地域言語A（チェコ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、チェコ語教員が担当する地域基礎科目（1コマ・2単位、秋学期）を履修する。残りの2コマ・4単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で開講される「地域基礎1A（ロシア・中央アジア）」（受講指定Czの付されたもの）から選択履修する。

3. 西南ヨーロッパ

・地域言語A（フランス語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定Fの付された4コマ・8単位のうちから3コマ・6単位を選択して履修する。

・地域言語A（イタリア語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定Iの付された3コマ・

6単位を履修する。

- ・地域言語A（スペイン語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定Sの付された2コマ・4単位を履修し、残りの1コマ・2単位は「西南ヨーロッパ」で受講指定Sの付されたものか、「ラテンアメリカ」で受講指定Sの付された授業から選択して履修する。
- ・地域言語A（ポルトガル語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定Poの付された2コマ・4単位を履修し、残りの1コマは、「西南ヨーロッパ」で受講指定Poの付されたものか、「ラテンアメリカ」で受講指定Poの付された授業から選択し履修する。

4. ロシア

「ロシア」の学生は、「ロシア」で開講される「地域基礎2A(ロシア1)」と「地域基礎2A(ロシア2)」の2コマ・4単位を履修し、残り1コマ・2単位は「ロシア」で開講される「地域基礎1A(ロシア1)」(受講指定R(ロシア、中央アジア)の付されたもの)を履修する。

5. 北アメリカ

「北アメリカ」専攻の学生は、「北アメリカ」で開講される3コマ・6単位のうち、2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、「オセアニア」、「ラテンアメリカ」から選択して履修する。

6. ラテンアメリカ

「ラテンアメリカ」専攻の学生は、「ラテンアメリカ」で開講される3コマ・6単位のうち2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「西南ヨーロッパ」、「ラテンアメリカ」で受講指定S、Poの付された授業の中から選択して履修する。

7. 日本

日本人学生(J1)・・・「J1」の受講指定4コマの中から3コマ・6単位を履修する。

外国人学生(J2)・・・「J2」の受講指定3コマ・6単位を履修する。

外国人学生(J3)・・・「J3」の受講指定3コマ・6単位を履修する。

8. 東アジア

・地域言語A（中国語）の学生は、「東アジア」で開講される授業のうち、受講指定Cの付された3コマ・6単位を履修する。

・地域言語A（朝鮮語）の学生は、「地域基礎2A(東アジア2)」(1コマ・2単位)および、「東アジア」で開講される受講指定Kの付された3コマ・6単位のうちから2コマ・4単位を選択して履修する。

9. 東南アジア

東南」、は単位4コマ・2り残、し単位履修2コマ・1を「(アジア東南A(1地域基礎) されている付の受講指定した対応にA地域言語それぞれの、される開講で「アジア授 業 する履修を

10. 南アジア

- ・2017年(平成29年)度に「地域基礎2B(南アジア1)」を履修し、「地域基礎1B(南アジア1)」をまだ履修していない学生は、2018年(平成30年)度以降に「地域基礎1B(南アジア1)」を履修することを推奨する。
- ・2018年(平成30年)度に入学する南アジア地域専攻の学生への地域基礎の履修上注意は、下記のとおりとする。「地域基礎1A(南アジア1)」「地域基礎1B(南アジア1)」各1コマずつ合計4単位は、必ず履修すること。この他、「地域基礎2A(南アジア2)」「地域基礎2B(南アジア1)」から各1コマ2単位を選択して履修すること。その際、「地域基礎2A(南アジア2)」は歴史や人文科学分野を学びたい学生、「地域基礎2B(南アジア1)」はベンガル語圏や国際協力等社会科学分野を学びたい学生が履修することを推奨する。

11. 西アジア・北アフリカ

「西アジア・北アフリカ」で開講される3コマ・6単位をすべて履修する。

12. 中央アジア

- ・地域言語A(モンゴル語)の学生は、「中央アジア」で開講される授業のうち受講指定Mの付された3コマ・6単位を履修する。
- ・地域言語A(中央アジア(ロシア語))の学生は、「中央アジア」で開講される「地域基礎2A(中央アジア1・2)」(受講指定R(中央アジア)の付されたもの)2コマ・4単位を履修し、残り1コマ・2単位は、「ロシア」地域で開講される「地域基礎1A(ロシア1)」(受講指定R(ロシア、中央アジア)の付されたもの)1コマ・2単位を履修する。

13. オセアニア

国際社会学部の学生は、「オセアニア」で開講されている地域基礎3コマ・6単位をすべて履修する。言語文化学部の学生は、「オセアニア」で開講されている地域基礎3コマの中から2コマ・4単位を選択して履修し、残り1コマ・2単位は「北アメリカ」または「北西ヨーロッパ」で開講されている地域基礎の授業の中から選択して受講する。

14. アフリカ

「アフリカ」で開講される3コマ・6単位をすべて履修する。